
経営効率化の取組み

2026年4月
北陸電力株式会社

北陸電力における経営効率化への取組み

- 2023年度の料金改定において、当社は原価算定期間（2023～2025年度）における効率化として132億円/年を計画。
- 2025年度は、資機材単価や請負単価の上昇の影響があったものの、需給関連におけるAI技術の活用や設備関連における上流購買等の取組みにより、計画以上である156億円の効率化を達成。
- なお、原価算定期間である3か年平均の効率化実績は143億円/年となった。
- 物価上昇の継続に加え、中東情勢の緊迫化もあり、調達環境は厳しさを増しているが、引き続き全社を挙げて真摯に経営効率化に取り組んでいく。

	主な内容	実績 (2023)	実績 (2024)	実績 (2025)	実績 (3か年平均)	計画 (3か年平均)
需給関連 (燃料費、他社購入・ 販売電力料)	<ul style="list-style-type: none"> ・AI技術を活用した最適な設備・需給運用 <ul style="list-style-type: none"> － 水力発電所・ダム流入量予測 － 火力発電所・ボイラー制御最適化 － 電力需給予測の向上 ・燃料調達コストの更なる低減 	52億円	58億円	63億円	58億円	47億円
設備関連 (修繕費・資本費 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・上流購買の推進による更なる資材調達価格の低減 ・新技術の導入による工法等の見直し 等 	62億円	57億円	73億円	64億円	56億円
その他 (人件費・その他経費)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツールの活用等による業務生産性向上 ・寮・社宅の廃止等の福利厚生制度の見直し ・諸経費の削減 等 	22億円	20億円	21億円	21億円	28億円
合計		136億円	135億円	156億円	143億円	132億円

* 効率化額については、計画上想定していなかった賃上げや物価上昇影響を含む(左記要因による費用増を非効率化としてカウント)。